

第43期 中間事業報告書

2015.04.01 ▶ 2015.09.30

ASANTE BUSINESS REPORT 2016



株式会社 アサンテ

証券コード 6073

トップメッセージ



白蟻防除業界の トップ企業として、社会的課題に 取り組んでまいります。

代表取締役社長

宗政 誠

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

●事業環境について

当期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善により緩やかな回復基調にあるものの、円安に伴う物価上昇等を背景に個人消費の回復は遅れており、先行き不透明な状況となりました。

当社市場におきましては、既存家屋に対する長寿命化と防災面も含めた保全意識は依然として高く、これが白蟻防除を主軸とした当社事業にフォローとなっていると見ておりますが、消費者マインドには依然として停滞感があり、引き続き厳しい事業環境が続いております。

●当第2四半期累計期間の取り組みについて

このような状況下において、当社は4月に奈良支店を新規開設し、営業エリアを21都府県に拡大いたしました。営業戦略といたしましては、第1四半期を中心に積極的な広告宣伝・販促活動を展開して、前事業年度において不振であった新規顧客向け営業の拡販を図るとともに、同様に「買い控え」が見られた既存顧客向け営業においても積極的な販売に努めました。

組織戦略といたしましては、より厳しさを増すと見られる採用環境のなかで優秀な人材の増強を図るため、人事部を設置し、担当取締役を配置いたしました。また、ガバナンス強化のため社外取締役を増員いたしました。

●当第2四半期累計期間の業績について

当期間の業績につきましては、売上高は7,349百万円(前年同期比3.3%増)となりました。損益面では、売上高の増加を人員増、拠点増に伴う費用等の増加が上回り、営業利益は1,640百万円(同2.9%減)、経常利益は1,653百万円(同2.2%減)となりましたが、四半期純利益は1,074百万円(同1.7%増)となりました。

●通期の業績予想・配当予想について

当事業年度の通期業績につきましては、売上高は13,900百万円(前事業年度比9.7%増)、営業利益は2,600百万円(同13.1%増)、経常利益は2,606百万円(同10.9%増)、当期純利益は1,661百万円(同17.7%増)を見込んでおります。また、1株当たり当期純利益は134円63銭(同16.8%増)を見込んでおります。

配当金につきましては、期末配当金として1株当たり40円(前事業年度比8円増配)を予定しております。

当社は今後も、中長期に亘り安定的な成長を遂げるべく、堅強な経営体制ならびに財務体質を基盤として、着実に新規営業エリアの開拓、既存エリアの深耕を図るとともに、今後一層多様化するニーズに、より質の高いサービスでお応えしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年12月

経営理念・経営計画

経営理念

人と技術を育て、人と家と森を守る

私たち日本人は、古くから木造の家で生活し、「木の文化」を育んできました。しかし、建材としての木は、天災に弱く、白蟻被害も受けますし、湿度の高い環境に晒されれば腐るといった性質を持っています。但し、白蟻被害や腐りに関しては、私たちが適切に処理、管理すれば防ぐことができます。

木造建築物の長寿命化を図ること。これが当社の使命です。そして、この事業を通じて、日本が誇るべき「木の文化」を後世に伝えていくことが、私たちの責務であると考えています。

中期経営計画 (2016年3月期～2018年3月期)

当社は、向こう3期間の経営戦略と業績目標を定め、これを毎年見直すことで、中長期的視点からの戦略・施策を立案、推進しています。

2016年3月期を初年度とする中期経営計画期間におきましては、防災意識の高まりから、既存住宅の保全意識も一層向上すると見られます。加えて、中古住宅流通の活性化により、既存住宅の資産価値向上に資するリフォーム等のニーズが高まると見えています。緩やかな回復が続く消費者マインドは、オリンピックイヤーに向け回復ペースが速まる一方、人材確保面ではより厳しい情勢となると予想しています。

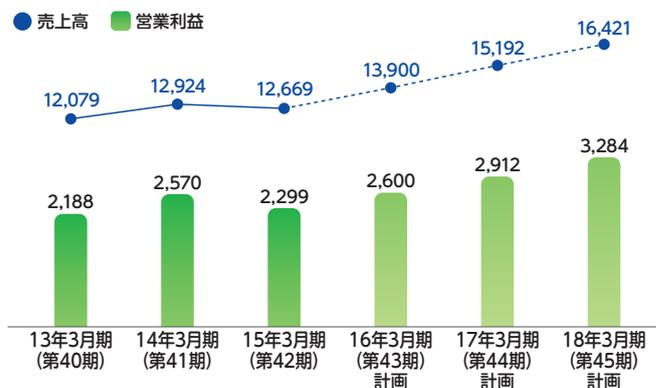
そうした環境の中、当社は同期間において、西日本エリアを中心に新規営業エリアの拡大及び拠点の増設、人員の増強を推進し、年率8%以上の増収を図ってまいります。

以上により、「2018年3月期実績売上高164億円、営業利益32億円、営業利益率20.0%の達成」を中期の業績目標に定めております。

◆中期経営戦略

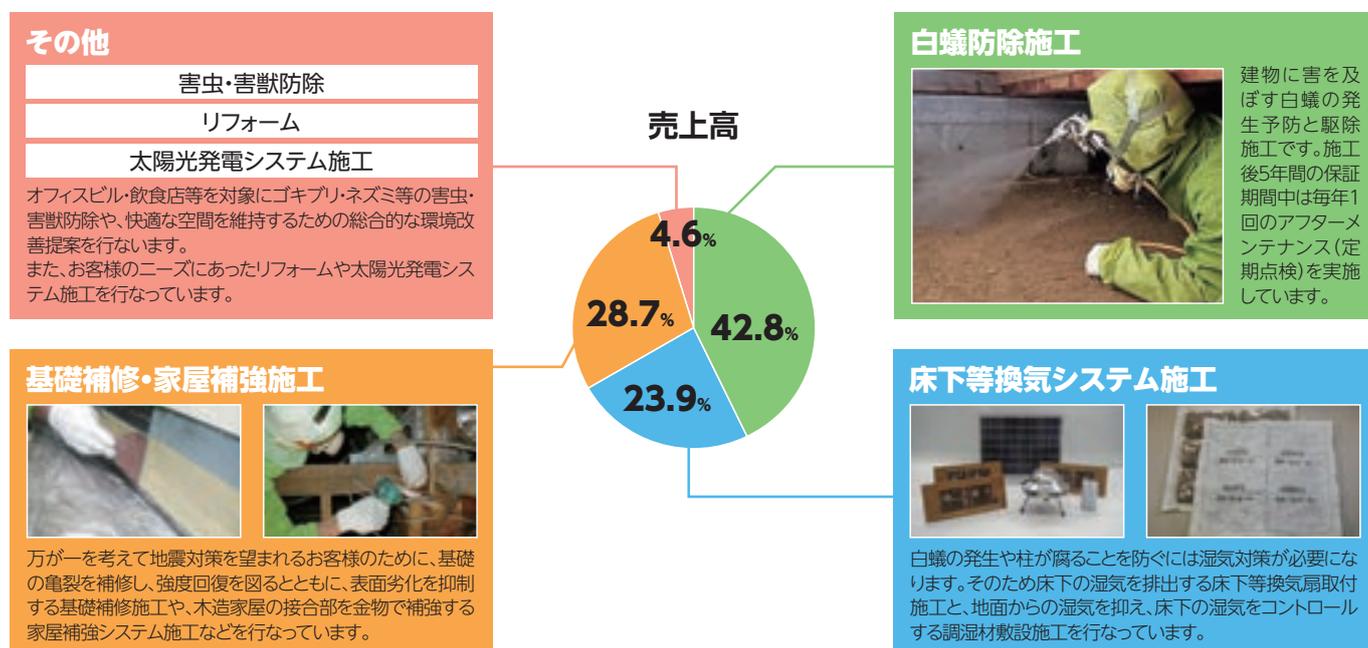
- 企業価値並びに株主価値の更なる向上
- 売上高の拡大、利益率の維持向上
- 総スキル量(人員 × 能力・品質)の向上

◆業績目標



事業内容とサービス別売上構成

※2015年3月期実績に基づく



トピックス



① シロアリプレスセミナーを開催

2015年5月12日(火)、アサンテ本社ビルにて、プレス向けセミナーを開催しました。京都大学の吉村 剛教授にご登壇いただき、「アメリカカンザイシロアリの最近の被害動向」と題して、白蟻被害の恐ろしさや、その拡大のメカニズムなどの貴重な情報をご教示いただきました。



② 日経IR・投資フェアに出展

2015年8月28日(金)、29日(土)に開催された「日経IR・投資フェア2015」に出展しました。当社のブースに多くの個人投資家の皆様にお立ち寄りいただきました。ブース内では、前年同様に、定期的に15分程度のミニ説明会を実施しました。また、29日(土)には代表取締役社長による会社説明会も実施しました。



③ 個人投資家向け会社説明会に参加

2015年9月5日(土)に開催された「東京IPOセミナー2015」と、2015年9月25日(金)に開催された「大阪投資セミナー」に参加しました。大阪では、営業エリア外では初の説明会となりましたが、当日は多くの個人投資家の皆様にご来場いただき、当社事業の目的や事業環境、業績等について説明させていただきました。



今後も、アナリスト及び個人投資家向けの会社説明会を積極的に行なってまいります。開催スケジュールにつきましては、当社ホームページに公開しておりますのでご参照ください。

主力サービスの紹介

第1弾

白蟻防除施工

～信頼あるプロの技術で
白蟻から家を守ります～

専門技術がないと白蟻防除は困難といわれます。隠れている白蟻には、やはりプロの手による処理が必要です。「木部処理」「土壌処理」「上回り処理」の3つを並行することで、確実に白蟻を駆除します。



安全性を追求した薬剤を使用しております。

白蟻の侵入を防ぐために土壌に散布する土壌処理剤と、木材の被害と腐朽を防ぐ木部処理剤の2種類の薬剤を使用しています。ともに低臭性で、高い安全性と長期間の白蟻防除効果を兼ね備えた優れた薬剤です。

臭いが少なく、
安全性が高い

+

残効性に優れ
長期間
効果が継続

+

薬剤のバリアで
効果的に
予防・駆除

PICK UP ! ～シロアリプレスセミナーより～

新たな脅威、アメリカカンザイシロアリ

アメリカカンザイシロアリは、乾燥した環境にも強いシロアリで、湿気のある地面や床下からだけでなく、家屋のいたる所でコロニー（巣）を作って食害を進めます。ですから、このシロアリを家屋から根絶やしにするためには、従来の施工方法と異なり、家屋全体をチェックして駆除する必要があります。

アメリカカンザイシロアリは、アメリカにおける木材害虫処理市場の被害額合計の約20%を占めています。カリフォルニア州南部では最大50%近くの家屋に被害があったという報告もあり、年間約20万件のガス燻蒸処理が行なわれています。

日本では、シロアリによる被害の多くがヤマトシロアリで、アメリカカンザイシロアリの被害は1%に満たないと言われています。しかし、このシロアリへの対策が積極的に取られていないため、15～20年後にはアメリカと同程度の被害になる可能性があると考えています。

アメリカカンザイシロアリは、写真のような小さな糞を見つけられない限り、発見も困難です。知らぬ間に食害が進み、手遅れになってしまう前に、年に一度は専門業者に床下と屋根裏を見てもらうことが必要です。



京都大学
生存圏研究所・居住圏環境共生分野
京大博士（農学）

吉村 剛 教授



アメリカカンザイシロアリ
(体長 約5～8mm)



アメリカカンザイシロアリの糞

事業環境について

既存住宅流通市場の変化

現在の住宅事業を取り巻く環境は、平成18年に住生活基本法及び住生活基本計画が策定されるなど、「作っては壊す」社会から「いいものを作って、きちんと手入れして、長く大切に使う」社会へと移行しつつあり、量的に充足した住宅ストックの流通を活性化させる取り組みが国策として行なわれるようになりました。その取り組みの一つが、既存住宅流通市場の整備です。

現行の取引市場では、建物価値は一律に経年減価し築後20～25年ではほぼゼロと査定されるのが一般的です（下図参照）。実際の使用価値は反映されない築年数のみによる評価方法が、消費者の適切な維持管理や柔軟な住み替えへの意欲をそいできたと言えます。そこで、適切な維持管理やリフォームによる住宅の質の向上が、市場において住宅の資産価値として適切に反映される新しい評価の基準が示されました。消費者にとっても、地道な維持保全等の取り組みにより建物の資産価値が維持・向上し、将来的な住生活の選択肢の幅が広がるような環境へと変わりつつあります。

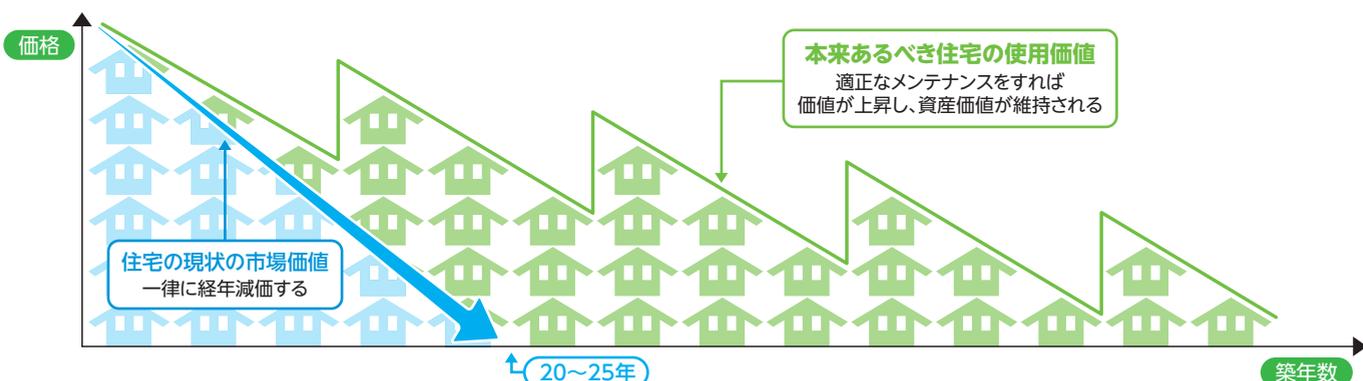
当社の事業は、快適な住まいで暮らしたいという普遍的な要望

にお応えするだけでなく、お客様の大切な資産である住宅をメンテナンスし、その価値を維持・向上させるものです。「量より質」のストック重視へと転換した事業環境の変化は、当社事業の認知度向上や需要の顕在化に追い風となります。

蟻害・腐朽の建物価値への影響

新しい評価基準の策定は、住宅の質や資産価値の評価に対する消費者の不安解消にも寄与します。当社事業に係る重要なポイントは、木造戸建て住宅において、蟻害や腐朽が安全性や建物価値を低下させる要因として示されていることです。

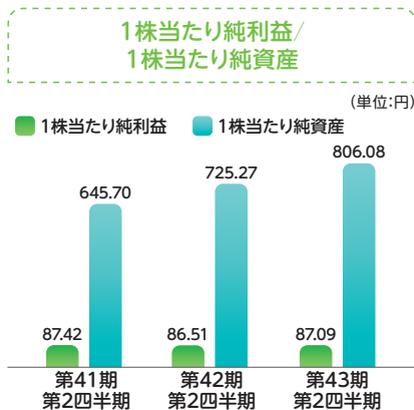
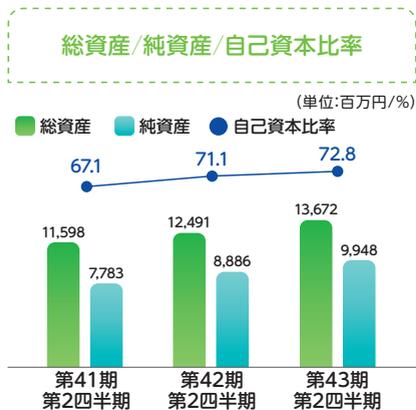
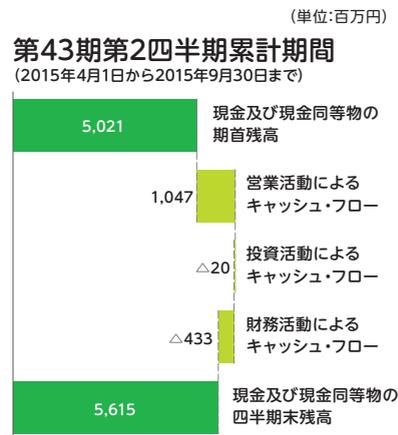
「既存住宅インスペクション・ガイドライン」（国土交通省・平成25年）のチェック項目には蟻害・腐朽の有無があり、構造耐力上の安全性に問題のある事例として示されています。また、「中古戸建て住宅に係る建物評価の改善に向けた指針」（国土交通省・平成26年）では、基礎・躯体の「住宅を支える」という機能が失われている場合、内外装・設備は住宅価値に反映すべきでない、という原則を提言しています。基礎・躯体の機能喪失の要因として蟻害や腐朽が明示され、これらへの対策が住宅価値の維持には不可欠とも言えます。



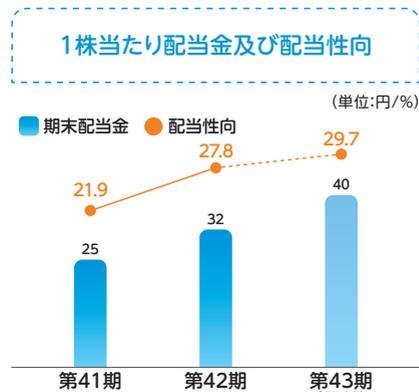
資産、負債・純資産の状況



キャッシュ・フローの状況



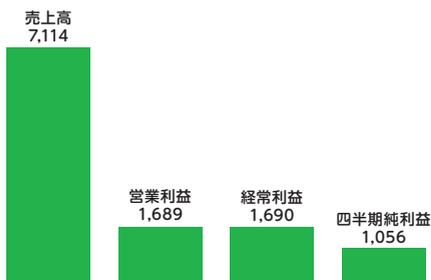
配当の状況(期末)



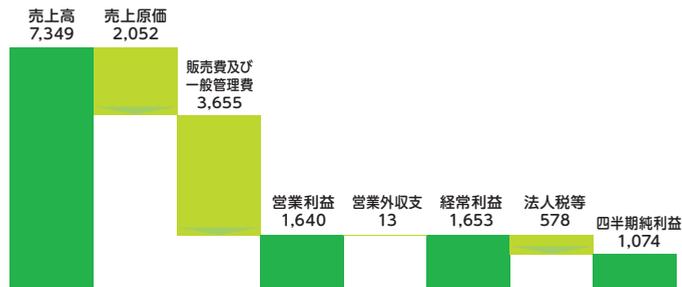
*予想については9月末時点

損益の状況

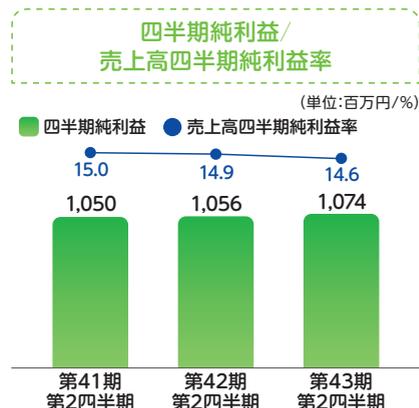
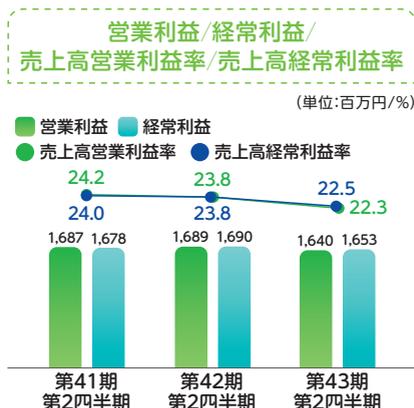
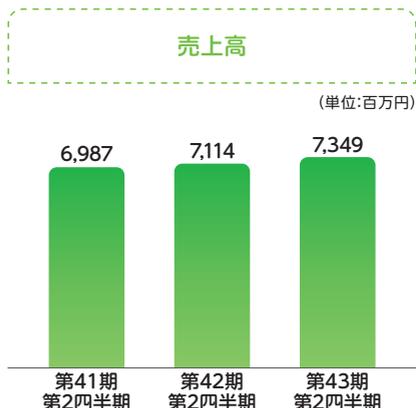
第42期第2四半期累計期間
(2014年4月1日から2014年9月30日まで)



第43期第2四半期累計期間
(2015年4月1日から2015年9月30日まで)



業績推移



会社データ／株主インフォメーション

会社概要 (2015年9月30日現在)

商号 株式会社アサンテ
証券コード 6073
本社 東京都新宿区新宿一丁目33番15号
創業 1970年5月
設立 1973年9月
資本金 11億円
従業員 885名

役員 (2015年9月30日現在)

代表取締役社長	宗政 誠
専務取締役	渋谷 健一
常務取締役経営企画室長	飯柴 正美
取締役人事本部長兼人事部長	亀山 彰
取締役総務部長	西山 敦
取締役営業本部長兼TS営業部長	宮内 征
取締役	内田 勝巳
取締役	堂垣内 重晴
常勤監査役	犬飼 由喜夫
監査役	櫛田 泰彦
監査役	黒澤 誠一

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎事業年度終了後3ヵ月以内
定時株主総会基準日 3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
単元株式数 100株
公告方法 当社の公告方法は、電子公告としています。
ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載します。
当社の公告掲載URLは次のとおりです。
<http://www.asante.co.jp/>
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
(証券コード:6073)
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

株式の状況 (2015年9月30日現在)

発行可能株式総数 42,000,000株
発行済株式の総数 12,341,900株
株主数 8,389名

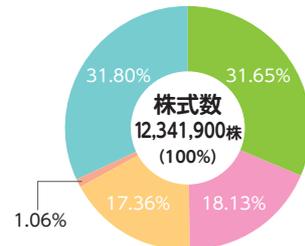
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ムネマサ	3,750,000	30.38
宗政 誠	856,425	6.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	665,500	5.39
ノーザントラストカンパニー エイブイエフシー リフィデリティファンズ	492,000	3.99
渋谷 健一	361,000	2.92
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー 505224	350,000	2.84
アサンテ従業員持株会	349,375	2.83
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	284,200	2.30
宗政 ヨシ	225,000	1.82
宗政 和美	225,000	1.82

株式分布状況 (2015年9月30日現在)

所有者別株式分布状況

個人その他	3,906,201株
外国法人等	2,236,938株
金融機関	2,142,100株
金融商品取引業者	131,360株
一般法人	3,925,301株



※自己株式68株は個人その他に含めております。

株主優待制度のご案内

1. 株主優待制度導入の目的

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に、中長期的に当社株式を保有していただくことを目的としています。

2. 株主優待制度の内容

(1) 対象となる株主様

毎年3月31日、9月30日現在の株主名簿に記録された1単元(100株)以上保有されている株主様を対象としています。

(2) 優待内容

対象となる株主様に対して、三菱UFJニコスギフトカード1,000円分を贈呈いたします。

(3) 贈呈時期

毎年6月、12月の発送を予定しています。



株式会社 アサンテ

東京都新宿区新宿一丁目33番15号
03-3226-5511(大代表)

